

第2回恵那市産業振興ビジョン検討部会（工業部会）

	基本方向	基本施策	狙い	課題	前回までの検討部会での意見	対応状況	R2 事業案	
①地域産業の発展・活性化 ②新たな起業の応援	ものづくり産業の振興	地域資源の活用とブランド化	「恵那といえばこれ！」というモノ・コト・サービスをつくる	・独自の技術や自社ブランド強化	<独自の技術や自社ブランド強化について> ○医療やロボットなど成長産業分野の企業を招聘してマッチングすることもいい。	○東京で開催される展示会へのテスト出展 ○ロボットビジネス支援機構へ加入	①地域商社事業（DMO） ②恵那くらしビジネスサポートセンター事業	
		知恵とネットワークを生かしたものづくり	事業者連携で地産地消を進め、新たな価値をつくる	・異業種連携を促進する仕組みづくり			①地域商社事業（DMO）（再掲）	
		市場開拓・販路拡大	流通を確保する	（未着手）			①地域商社事業（DMO）（再掲）	
	集客・交流産業の振興	集客・交流産業の振興	「恵那といえばこれ！」というモノ・コト・サービスをつくる	・オープンファクトリーなど観光での活用			①地域商社事業（DMO）（再掲）	
		集客できる拠点の整備	楽しんでもらえる場所をつくる	（未着手）				
		魅力発信	市内外に魅力を知ってもらおう	（未着手）			①地域商社事業（DMO）（再掲）	
	経営基盤の強化	経営支援	時代に対応した持続する経営体制を整える	・経営者の事業承継に対する重要性認識			○岐阜県事業承継ネットワークへ加入	①事業承継支援事業の充実 ②恵那くらしビジネスサポートセンター事業（再掲）
		経営基盤の強化		・ソフトなどIT活用 ・事務の効率化・先端設備未導入事業者への支援 ・先端設備に関するノウハウ不足 ・社内管理体制の改善	<IT/IoTの活用について> ○ソフトウェアの活用も必要 ○生産性向上につながるが分からない。 ○各社の導入事例を紹介したり交流して意見交換したりする機会があるといい。 ○IT/IoT関連企業が近くにあるといい。	○IoT活用セミナーを開催し、先進事例を紹介	①IoT推進ラボ事業の充実（モデル企業の創出） ②恵那くらしビジネスサポートセンター事業（再掲） ③ものづくり産業の生産性向上事業	
		新たな担い手発掘と育成		起業・創業しやすい環境をつくる	（未着手）			
	人材の確保・育成	人材の確保	働きたいと思われる職場をつくる	・採用担当者の採用に関するノウハウ不足 ・転出者への情報提供 ・高校生確保の取り組みが十分でない ・事業者とネットワークがない学校との関係構築	<外国人労働者について> ○中心市街地に近い場所でアパートを探したが、借りられない。 ○日本語教室が近くで開催されるといい。 ○地域の交流がもっとあるといい。 ○買い物に困るので移動販売が増えるといい。 ○都市部の会社へ行きたがる。 ○市内企業が外国人労働者の雇用についてどう考えているかアンケートを取ってほしい。 <高校生の確保について> ○親の意見が大きいため、親を対象とした企業見学会などがあるといい。	○総合計画において外国人労働者の増加を見据えたまちづくりを進めるよう提案 ○外国人労働者の雇用に関するアンケート準備中 ○恵那南高校の生徒・保護者・先生を対象とした企業見学会（7/17-22） ○恵那高校での職業講話（9/20） ○恵那西中学校での企業説明会（10/2） ○山岡中学校での企業説明会（未定） ○恵那特別支援学校での進路説明会への企業参加（11/14） ○女性限定の企業説明会（11/22） ○恵那・中津川高校2年生対象の企業説明会（2/20）	①成果を上げる就職面接会等のシステム構築 ②企業の採用力向上事業 ③企業の魅力発信事業補助金 ④恵那くらしビジネスサポートセンター事業（再掲） ⑤シニアワークステーション事業 ⑥女性の活躍推進事業	

第2回恵那市産業振興ビジョン検討部会（工業部会）

					<ul style="list-style-type: none"> ○土日の企業見学などにも対応したい。 ○学生はインターンシップに行ける範囲に限られているので遠い場所の企業には来てくれない。 ○ケーブルTVを利用して市内企業の紹介映像を学校で流せないか。 ○他市では、ものづくり教室などを実施し、企業を知ってもらっている。 ○継続していくことで多くの人に知ってもらいたい。 <p><全般></p> <ul style="list-style-type: none"> ○人材採用のスキルが必要（大手はある） ○雇用対策協議会の実施事業を周知する必要あり ○働き方改革により残業が制限されると辞めてしまうケースもある。 		
		市民が事業者を知る機会の創出	地域の人に事業者の魅力を知らせてもらう	・自社のPRノウハウ不足	<p><全般></p> <ul style="list-style-type: none"> ○地元に戻ってきてもらうためにキャリア教育は必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ○恵那高校での職業講話（9/20）（再掲） ○恵那西中学校での企業説明会（10/2）（再掲） 	<ul style="list-style-type: none"> ⑧ 企業の魅力発信事業補助金（再掲） ⑧ 恵那くらしビジネスサポートセンター事業（再掲）
		潜在的な人材の発掘	まだ働いていない人に活躍してもらおう	<ul style="list-style-type: none"> ・市内女性の働くことへのニーズ把握 ・市内高齢者の働くことへのニーズ把握 			<ul style="list-style-type: none"> ⑧ 恵那くらしビジネスサポートセンター事業（再掲） ⑧ シニアワークステーション事業（再掲） ⑧ 女性の活躍推進事業（再掲）
		人材育成	伝統や文化、技術を伝え、次の担い手を育成する	・技術伝承のための仕組み	<p><人材育成について></p> <ul style="list-style-type: none"> ○人材育成するための人材がいない。 ○中間管理職がいない ○自社での新人研修は限界があるので名古屋などへ行って参加しなければいけない。 	○JALと連携した接遇研修を企画	<ul style="list-style-type: none"> ⑨ 人材の定着支援事業 ⑨ 新産業人材育成支援事業 ⑧ 恵那くらしビジネスサポートセンター事業（再掲）
③ バランスの取れた企業誘致	産業基盤の強化	企業立地の促進	地域に必要な企業を誘致する	<ul style="list-style-type: none"> ・企業誘致戦略の整備 ・企業側の立地ニーズの把握 ・工業用地の確保 ・社員の住環境整備 	<p><企業誘致について></p> <ul style="list-style-type: none"> ○若者の選択肢が増えることも含めて新たな産業など誘致は必要。 ○誘致企業に人材を取られないよう考慮し、既存企業を守ってほしい。 ○既存企業と関連のある企業を誘致。 ○人を増やすため住宅を増やす。 	○総合計画において住宅施策を検討するよう提案	<ul style="list-style-type: none"> ⑧ 企業誘致促進事業（成長産業分野誘致） ⑧ 本社機能移転プロジェクト ⑧ テレワーク推進事業
		地域の個性を生かした産業基盤の強化		・地元企業と関連性のある企業の選定			<ul style="list-style-type: none"> ⑧ 企業誘致促進事業（成長産業分野誘致）（再掲） ⑧ 本社機能移転プロジェクト（再掲）